



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	日本中央アジア学会2019年度大会プログラム
Citation	日本中央アジア学会報, 16, 27-29
Issue Date	2020-07-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/88520
Type	other
File Information	JB016_003amprogram.pdf



日本中央アジア学会 2019 年度大会プログラム

■概要

日程：2020年3月21日(土)～3月22日(日)

会場：オンライン(会議アプリケーションZoom)

■プログラム

● 3月21日(土)

13:50～14:00 開会挨拶

14:00～18:00 個人発表①

司会：地田徹朗(名古屋外国語大学)

ベクトウルスノフ・ミルラン(北海道大学)

「ソヴィエト初期カラ・クルグズ自治州における現地人エリートとヨーロッパ系活動家の対立問題——「31人の声明」を中心に——」

討論者：植田暁(アジア経済研究所)

SOIPOV Jasur (University of Tsukuba)

“Japanese Language School and Labor Migration: Uzbekistan Participants’ Perspectives”

Discussant: OBIYA Chika (Kyoto University)

西條結人(四国大学)

「大学生生活場面におけるキルギスの日本語学習者の言語状況——キルギス語とロシア語の選択と使用に着目して——」

討論者：入山美保(筑波大学)

清水学(有限会社ユーラシア・コンサルタント)

「アゼルバイジャン外交と現代の非同盟運動の意味——バクー非同盟運動首脳会議を傍聴して——」

討論者：立花優(北海道大学)

● 3月22日(日)

9:30～13:30 個人発表②

司会：櫻間瑛

楊曦晨(筑波大学)

「19世紀中葉露清関係の転換と奕山」

討論者：新免康(中央大学)

URMONBEKOV Diyor (Keio University)

“Research on FDI Strategy in Terms of Attracting Investors for the Republic of Uzbekistan: Cases from CIS (Russia, Ukraine, Kazakhstan, Azerbaijan, Belarus)”

Discussant: SHIMIZU Manabu (Eurasian Consultant Ltd.)

インセバイエヴァ・サビーナ(筑波大学)

「統合を求めて——ポスト・ソビエト期カザフスタンにおける政治、権力と象徴の曖昧さ——」

討論者：宇山智彦(北海道大学)

李眞恵(京都大学)

「現代カザフスタンにおける多民族共存へのアプローチ——カザフスタン高麗人(コリョ・サラム)を事例に——」

討論者：岡奈津子(アジア経済研究所)

15:00～16:00 日本中央アジア学会総会

16:00～18:00 公開パネルセッション

『アジア経済』・日本中央アジア学会共同企画

「途上国研究の最前線としての中央アジア——比較政治、開発経済、現代史、環境の視点から——」

司会：植田暁（アジア経済研究所）

宇山智彦（北海道大学）

「比較政治学における中央アジア研究の成果・可能性・課題」

樋渡雅人（北海道大学）

「移行経済論と開発経済学の接点としての中央アジア地域研究」

熊倉潤（アジア経済研究所）

「民族エリートと国民国家建設からみた中央アジア地域研究」

地田徹朗（名古屋外国語大学）

「環境と地理からみる中央アジア地域研究のあり方」

※本公開パネルセッションの内容は、雑誌『アジア経済』第61巻第3号（2020年）61～96頁に、「インタビューで知る研究最前線 第2回」として掲載された。

<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/Ajia/202009.html>

*発表者、司会者、討論者の所属はいずれも発表時のものです。